

「リサイクル」の目

いま、地球は怒っている！

地球環境の現状

真冬に春一番が春の嵐となつて吹き荒れ、春本番の時期に豪雪を伴う吹雪が襲う等、気候変動による異常気象が地球上の各地で頻発し、我々生物の生存基盤を脅かしつつあります。これは明らかに地球環境破壊の一つの現象なのです。

我々は奇跡といわれる高度成長を成し遂げ、物的豊かさを得ましたがそれは地球環境破壊、という代償のお陰（負の遺産）であることを忘れてはなりません。

事業者・企業を筆頭とする社会の構成員全てに、加害者としての責任があることを改めて認識することが必要です。

地球環境問題の流れ

(1) 自然循環 (日本)

戦後しばらくの間(1950年代)まで、自然循環・自然浄化による、自然環境・地球環境にとって平穏な時期がありました。特に、

江戸時代の江戸は歴史に残る資源循環(リサイクル)型社会を形成していました。



江戸時代のリサイクル

(2) 公害問題 (日本)

1960年代後半から70年代にかけて日本経済の高度成長にともない、私達人間の生命・健康・生活環境を侵し、自然環境に害を与える公害問題が発生しました。

公害の種類としては

① 大気の汚染

人間の活動により大気が有害物質で汚染され、人の健康や生

活環境、動植物に悪影響が生じる状態のことです。

② 水質の汚濁

人間の活動により工場等から排出される水(工業排水)や家庭などから出る排水(家庭排水)などが、河川・湖沼・港湾・沿岸海域などの公共用水域に流れ、汚染・汚濁している現象のことを言います。



環境省 こども環境白書

水 質 汚 濁

③ 土壌の汚染

人間の活動により土壌中に重金属、有機溶剤、農薬、油などの物質が廃棄され、自然環境や人の健康・生活へ影響を及ぼす状態をいいます。

④ 騒音

騒がしくて不快と感じる音のことです。

⑤ 振動

地面又は建物が上下方向、縦横方向に揺れる現象です。

⑥ 地盤の沈下

地盤が圧縮され、沈んでいく現象です。

⑦ 悪臭等

不快な感じをもよおす臭いのことです。

以上、典型7公害が知られています。

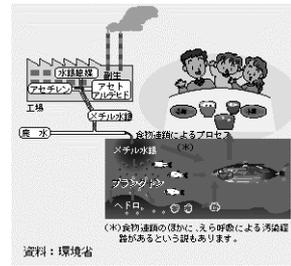
4 大公害病

典型7公害のうち大気汚染、水質汚濁等、企業等の排出する有害物質等により4大公害病が発生しました

① 水俣病

熊本県水俣市の会社の工場から流された水銀が、有機水銀(メチル水銀)となり、生物濃縮で

高濃度になった魚介類を食べた人から発症しました。



水 俣 病

- ② 新潟水俣病
水俣病と同様の症状で新潟県阿賀野川下流域で発生し「新潟水俣病」や「阿賀野川有機水銀中毒」とも呼ばれます。
- ③ イタイイタイ病
岐阜県の三井金属工業の神岡鉱山から出たカドミウムが、神通川下流の水田を汚染し、そこで栽培された米を食べた人々から発症しました。
- ④ 四日市ぜんそく
三重県四日市市の石油コンビナートの排煙、とくにその中の二酸化イオウのために起きた喘息です。

公害の特長としては

- ① 被害者と加害者の因果関係が比較的明確です。
- ② 地域も限定的です。

(3) 地球環境問題

やがて1990年代に被害者と加害者の因果関係が国境を越え、地球規模での環境破壊が深刻な問題として浮上してきました。

- ① 地球温暖化問題
二酸化炭素などの“温室効果ガス”の大気中濃度が、急激に増加することで地球の平均気温が上昇するなど気候変動を引き起こすことをいいます
- ② オゾン層の破壊
地球を取り巻く成層圏オゾン層が、“CFC”（クロロフルオロカーボン、代表的なフロン）などの人工化学物質で破壊される現象です。
- ③ 酸性雨
工場などから、化石燃料などの燃焼により硫酸酸化物や窒素酸化物が排出され、大気中で、硫酸・硝酸等に変化した、pHの低い酸性の雨のことをいいます。
- ④ 海洋汚染
海域や海水が化学物質、油脂、廃棄物の投棄等で汚染される現象です。三方が海の千葉県では深刻な問題です。
- ⑤ 有害化学物質（ダイオキシン）

塩素化合物を含む廃棄物を低温、不完全燃焼すると発生し、毒性はフグ毒の十倍、サリンの百倍、青酸カリの一万倍で人工物質中最強の毒物といわれています。



⑥ 環境ホルモン

生体内の正常なホルモン作用に影響を与え、一般的に生物の生殖機能や発生機能に悪影響を及ぼします。(オスのメス化)

⑦ 熱帯雨林の減少

年間日本の半分が消失するといわれ、木材は日本が大半輸入。

⑧ 生物種の減少

急激な環境変化で、年に数万種が絶滅しています。

⑨ 砂漠化

全陸地の1/4が砂漠化の影響を受け、食料不足で餓死者が多発する可能性があります。

⑩ 人口爆発

総人口が2050年には100億になり食料の供給料が大幅に減少します。

⑪ 資源の枯渇等

天然資源の可採推定年数は石油は40年、天然ガス60年といわれ有限で、枯渇します。

いま、地球温暖化が大問題になっていますが、一朝一夕で地球温暖化問題に到達したわけではありません。我々人間の経済活動や、日常生活による長い地球環境破壊の歴史があり、現在に至っていることを忘れてはなりません。

「中小企業診断士

地球温暖化防止活動推進員

布施光義」